



もくじ CONTENTS 復讐のはじまり 003 第1話 PAGE chapter KO. 悪魔の力 第2話 047 chapter HO. PAGE 081 監禁 第3話 chapter NO. ペットとエサ 109 第4話 PAGE chapter NO. 口移しで飲め 第5話 133 chapter NO. PAGE

NTREVENGE エピソード 0 ザ・ビギニング

单行本特別収録

DL-Raw.Se

152























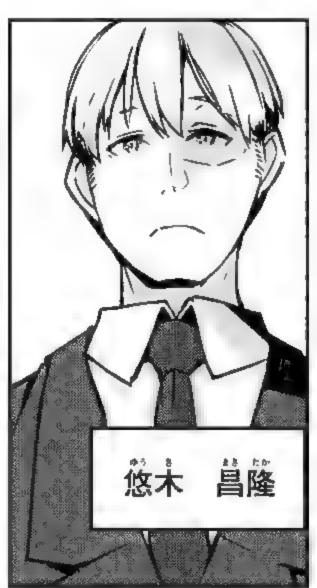
















水野 陽菜



昭島 瑞穂



























うらん ほしいな……











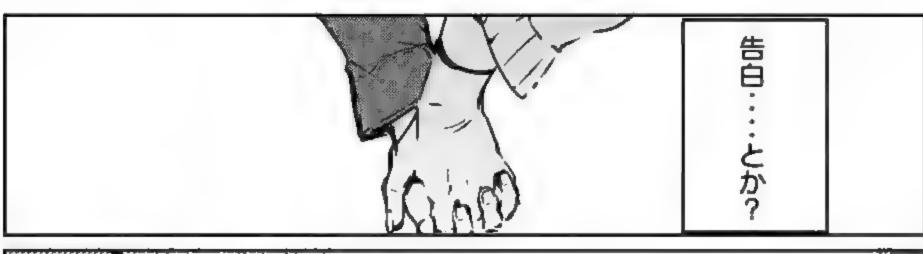




・帰るしかないな







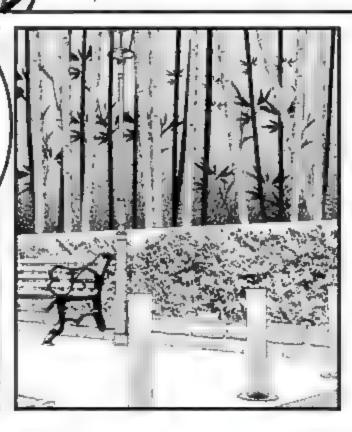
















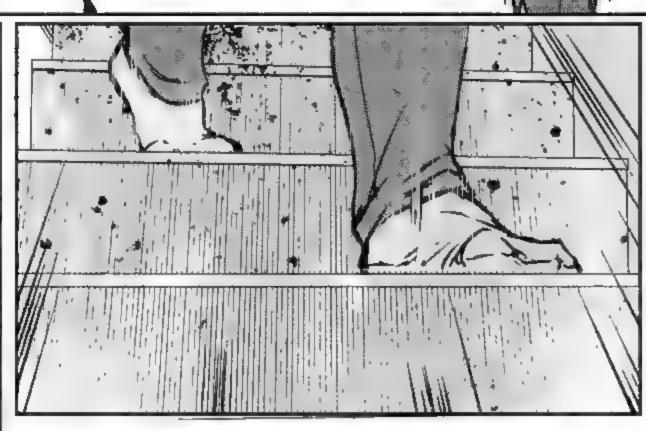














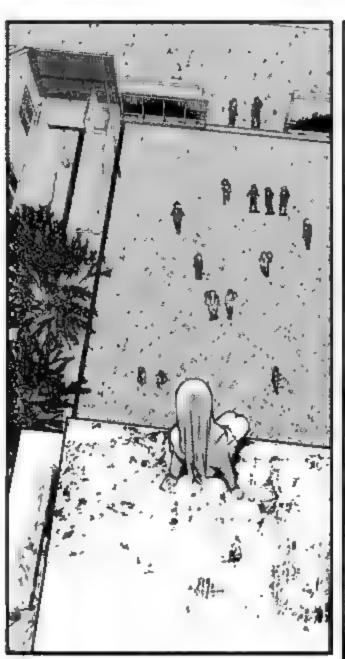


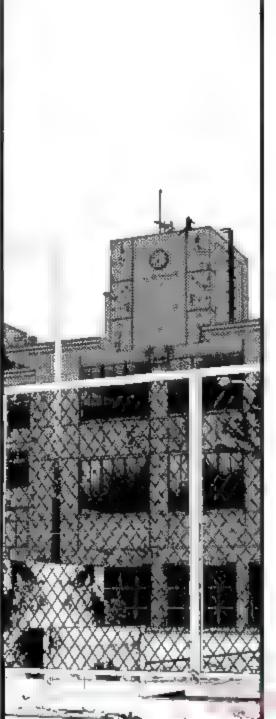












-34-

















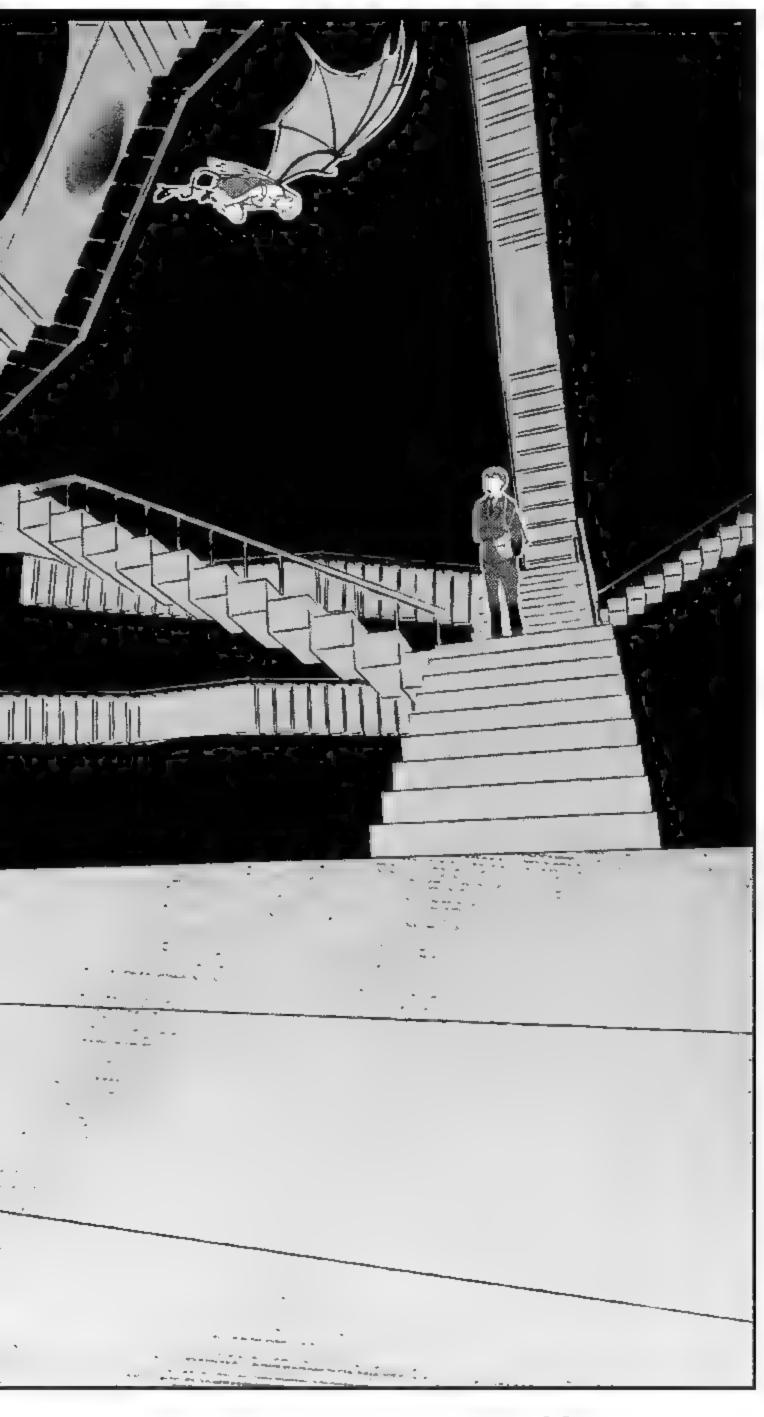












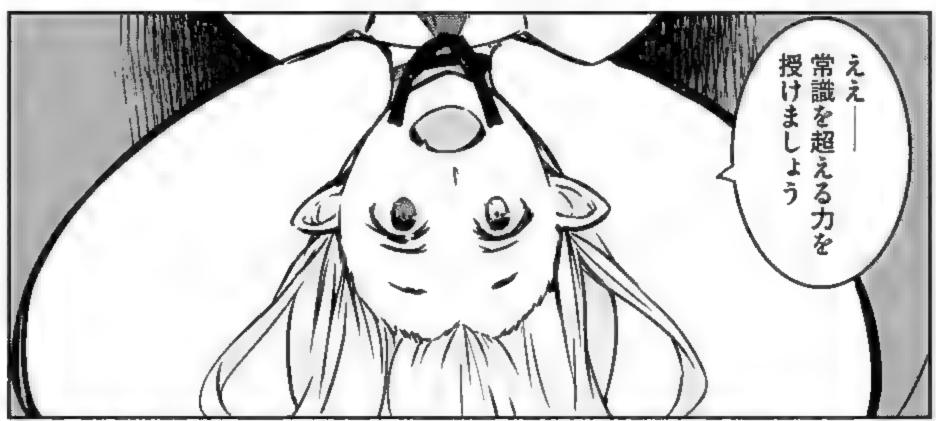














まが信じるか 話…

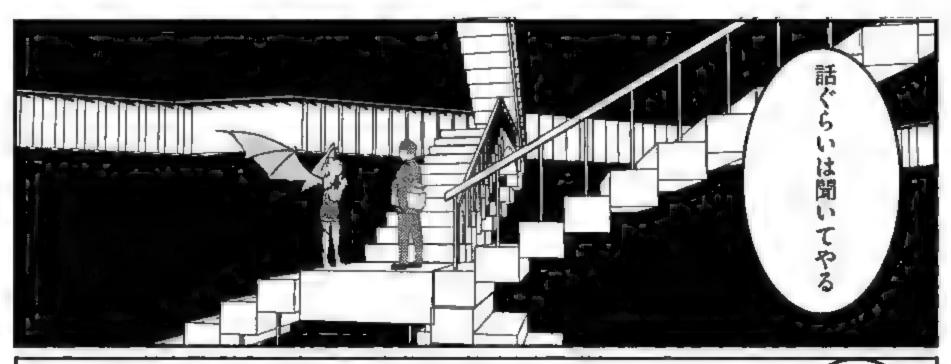














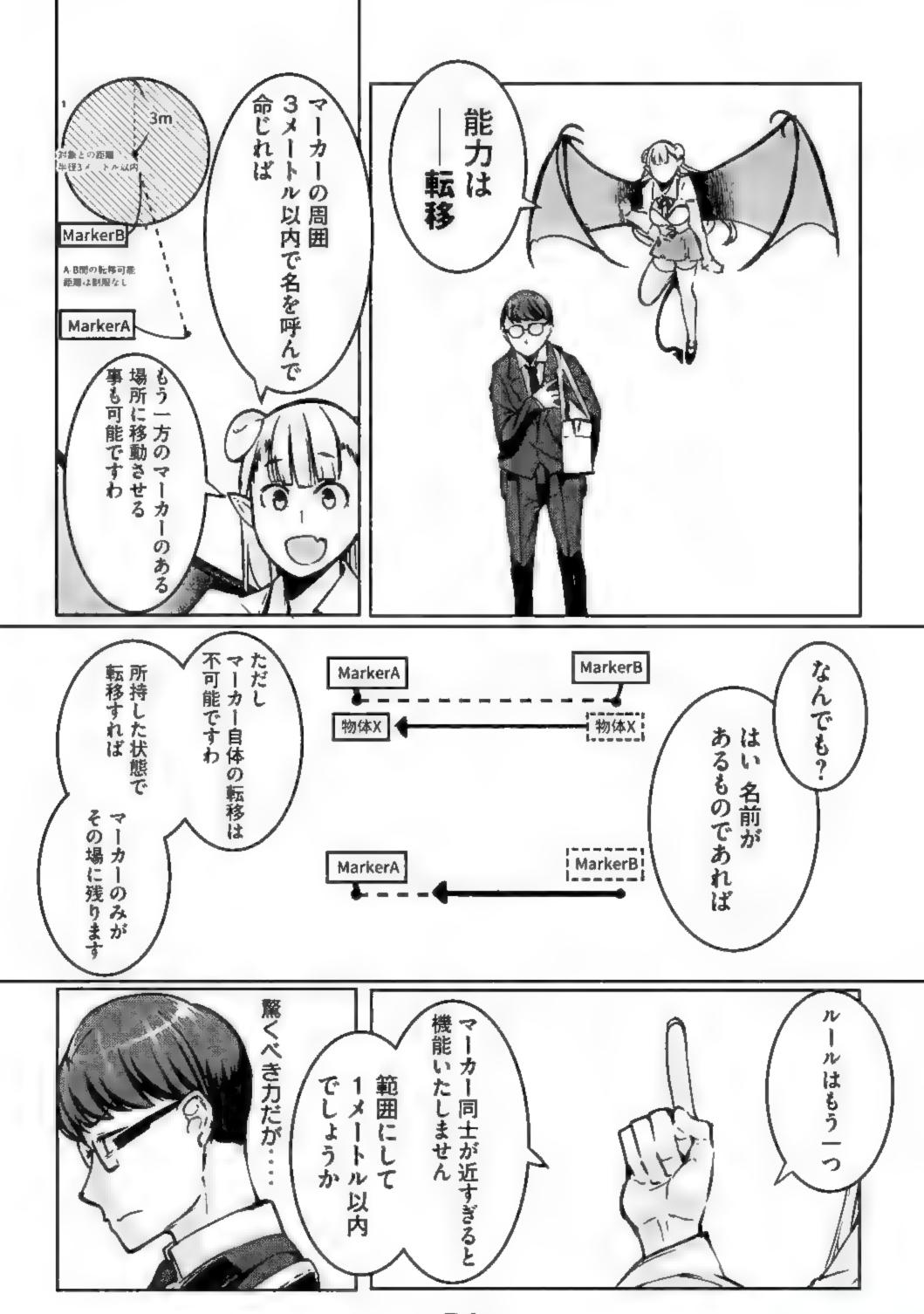


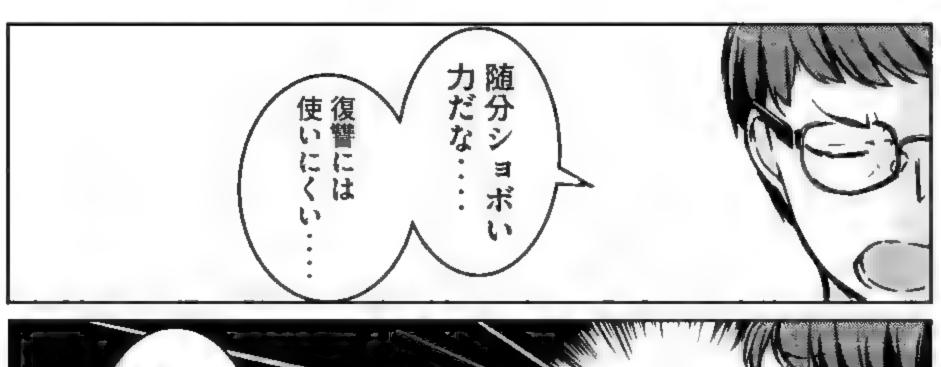














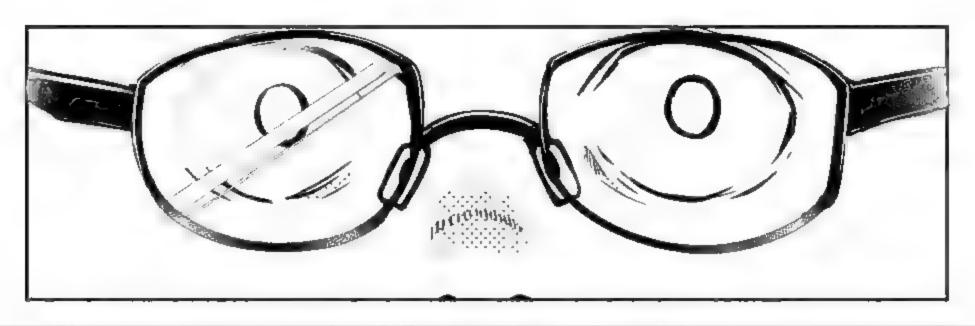




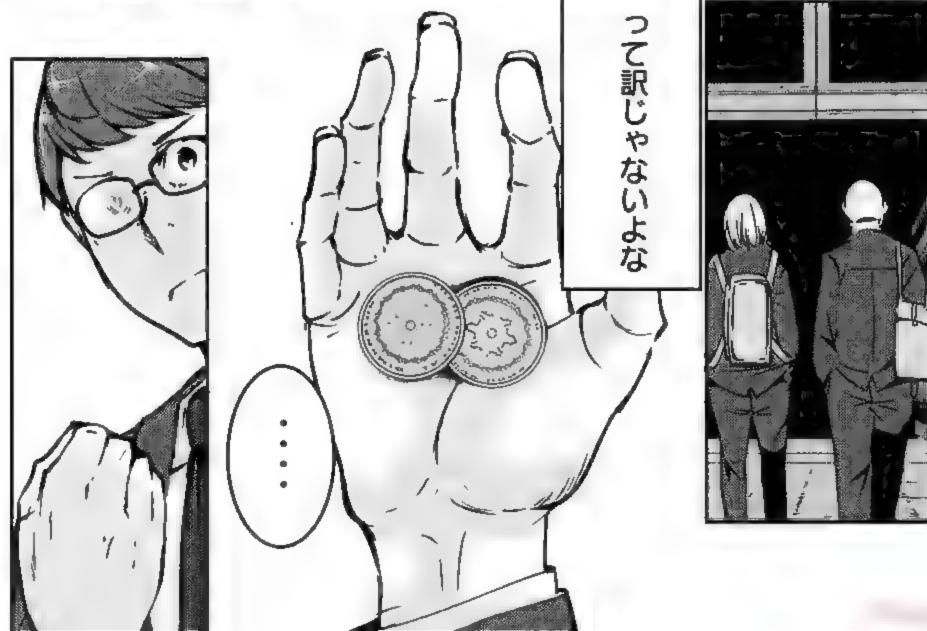








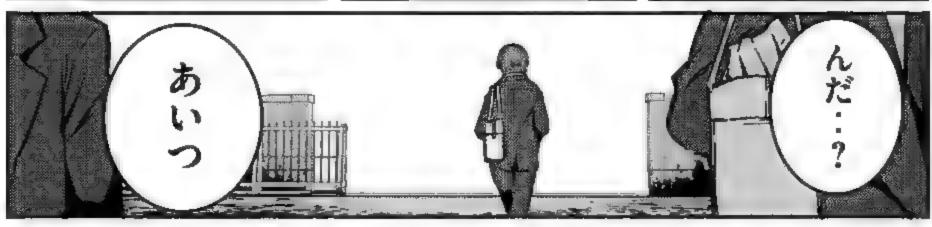










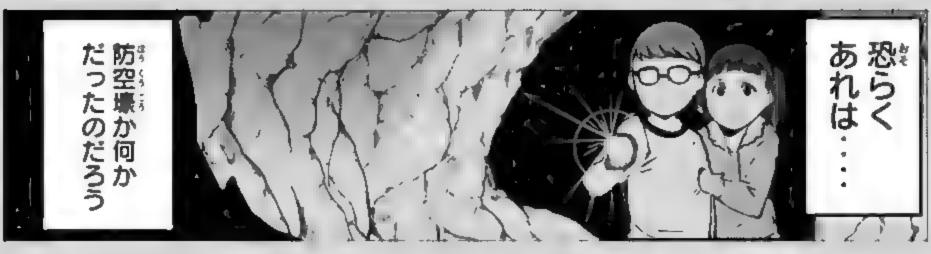








-6I-



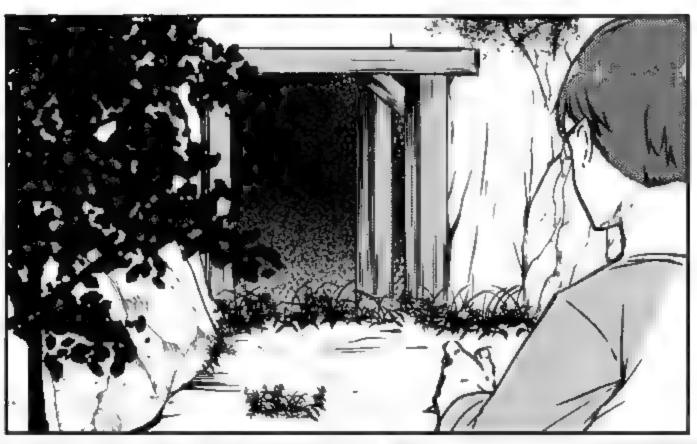
















すればし



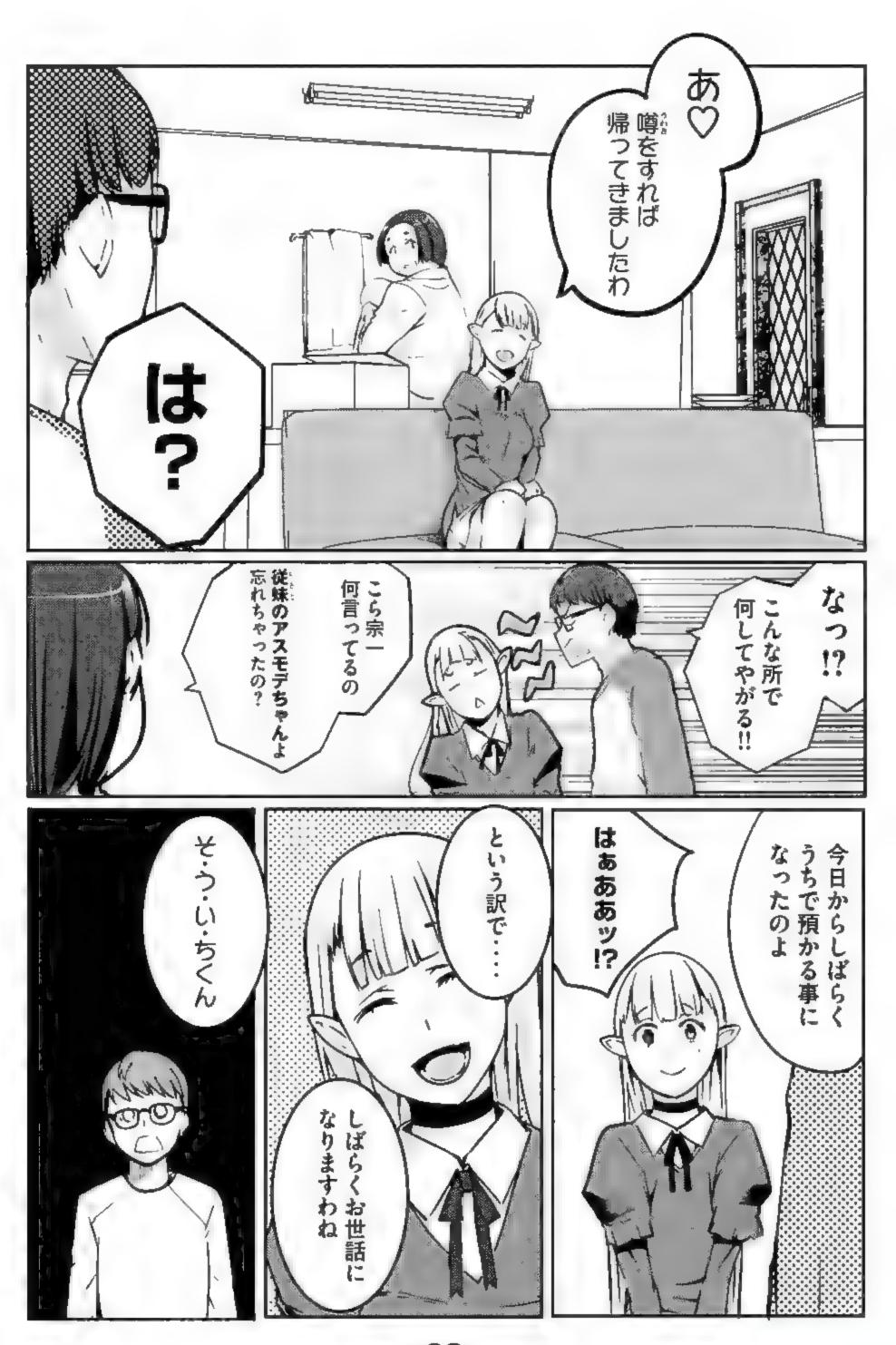






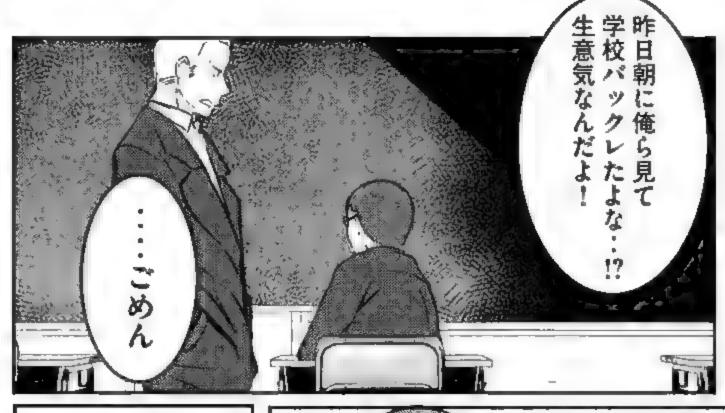








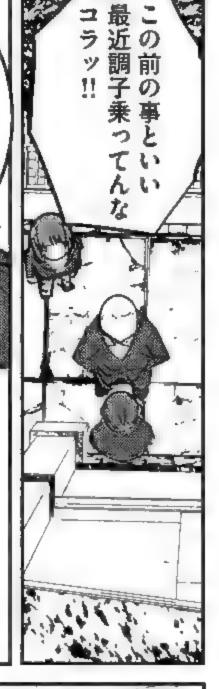




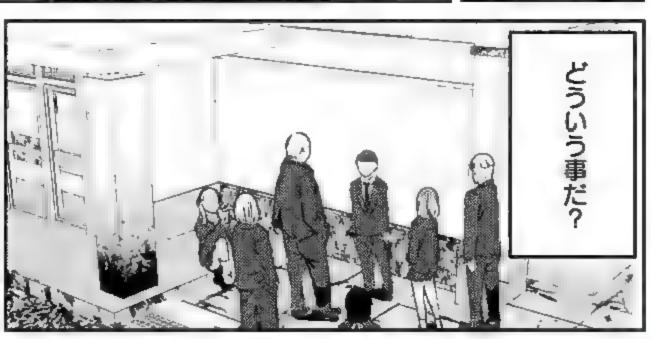










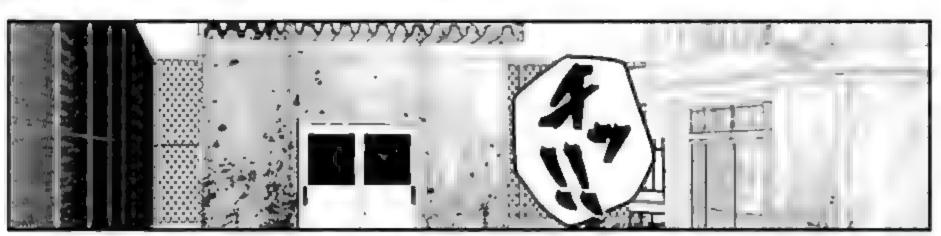
























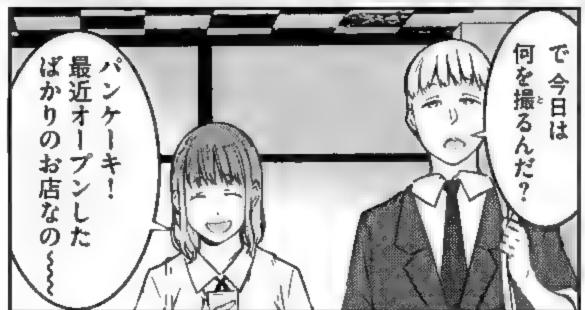




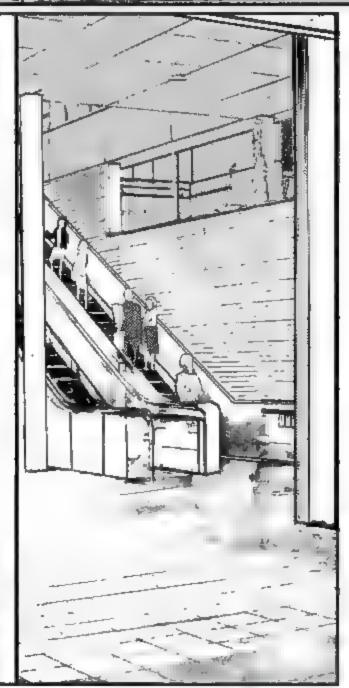




















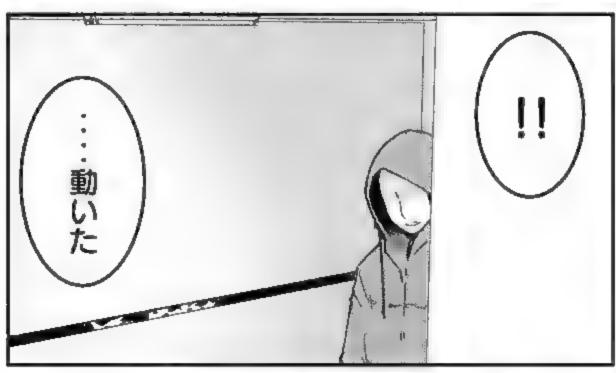




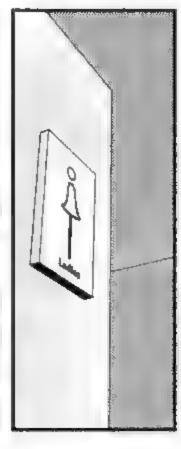






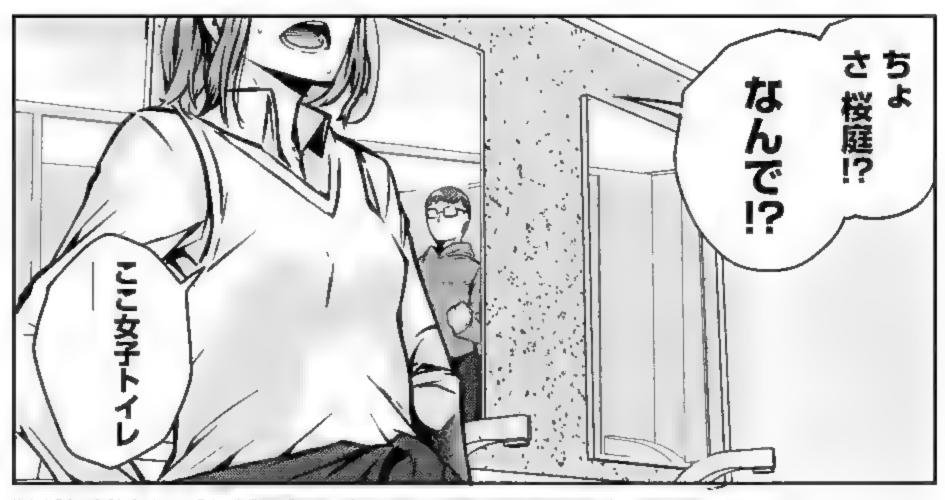
















何も見えない!!

誰だ!

陽菜か?

落ち着けってば ここがどこなのか アタシにも 分かんねーよ どうなってんのよ!!

















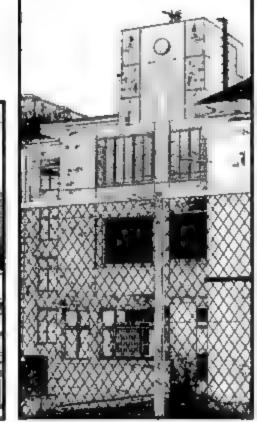














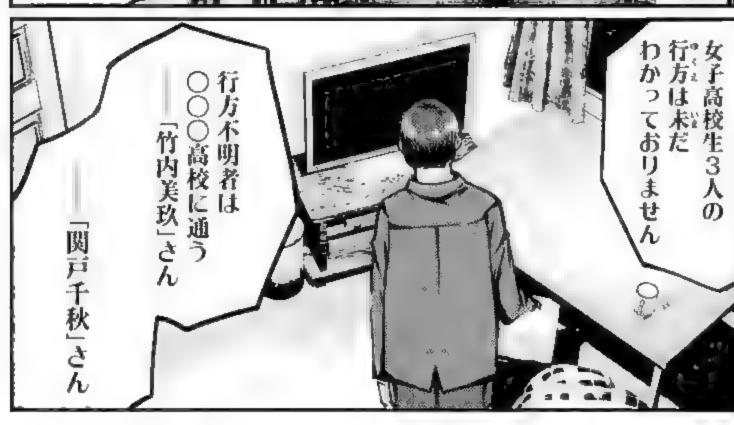




































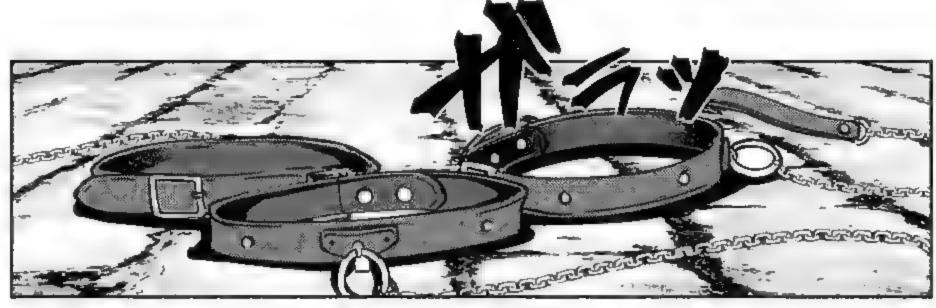






















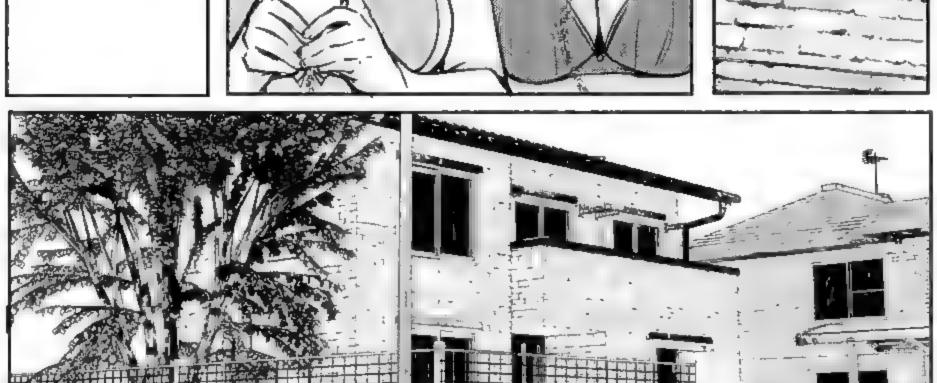


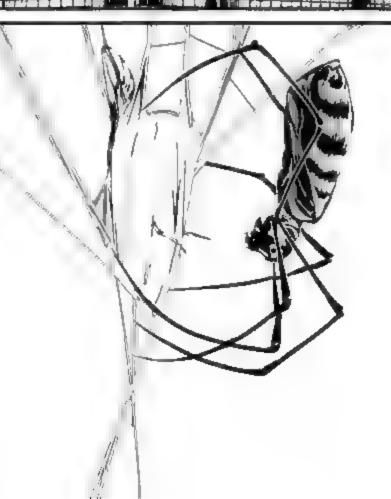








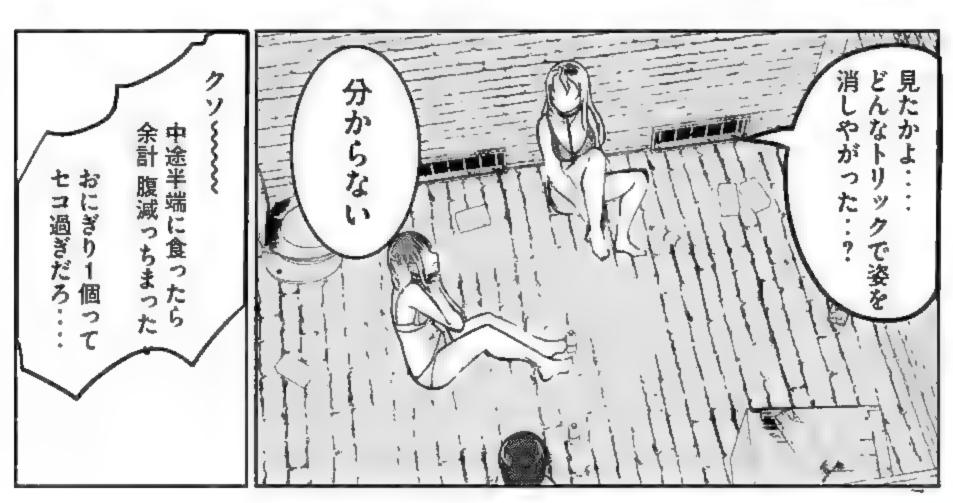
































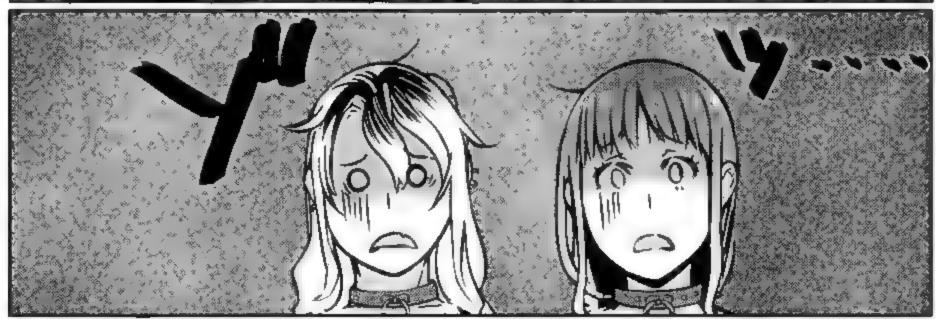




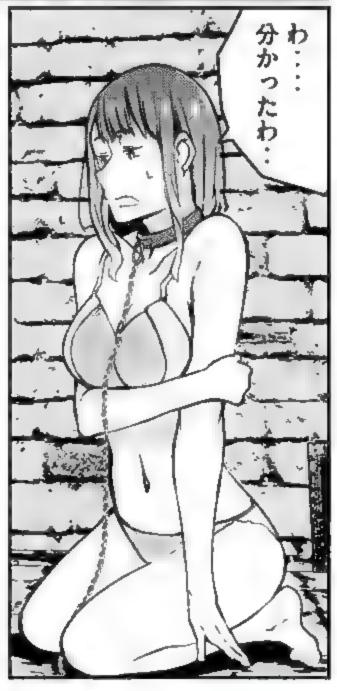














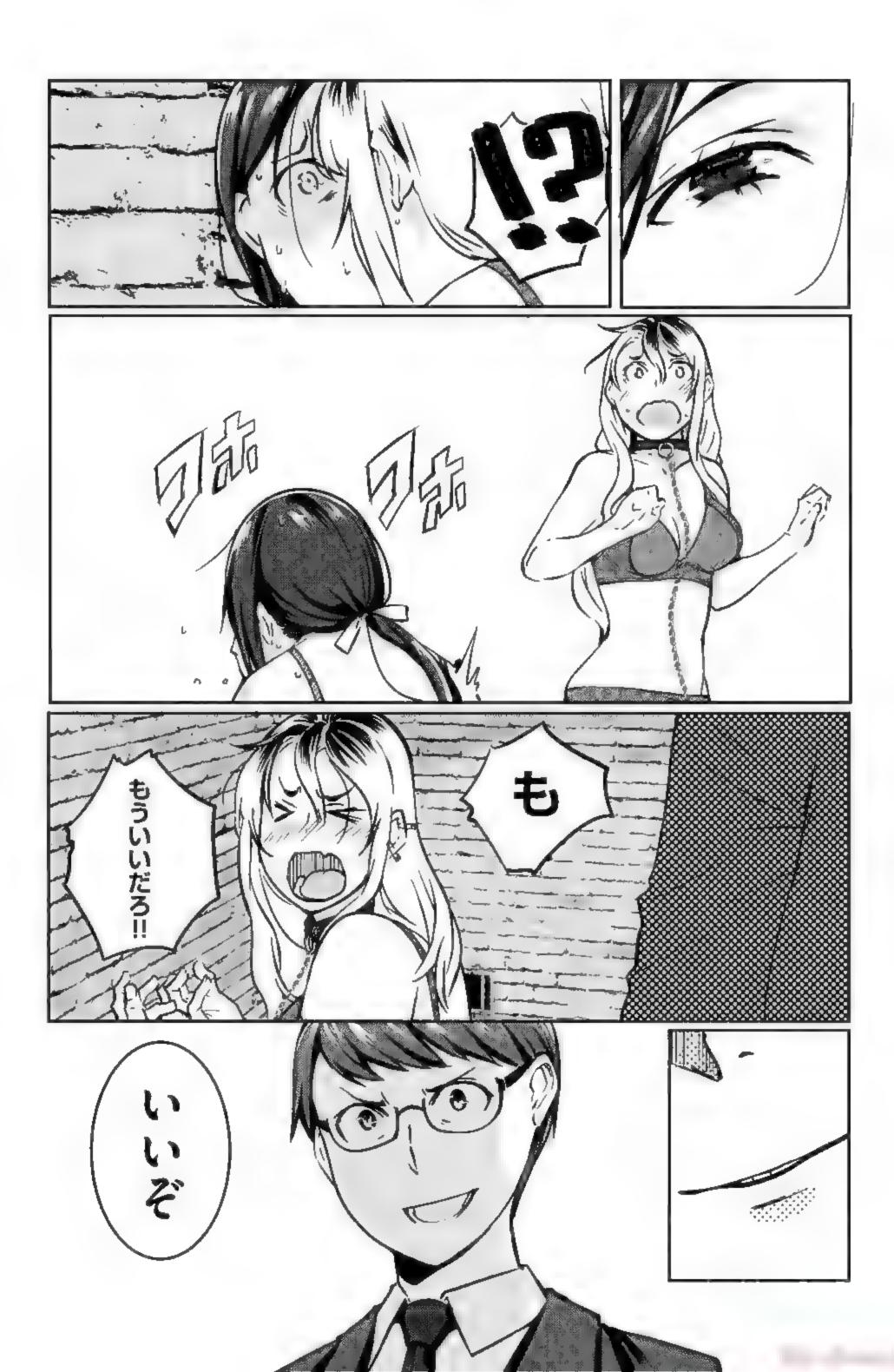








**-144**-



















To be continued in the NEXT REVENCE.

**単行本特別収録** 

# ザ・ドーング NTREVENGEエ。 ピソード 0

通り過ぎるパトカーのサイレンが、ドップラー

効果を残して遠ざかつていく。

煌びやかな歓楽街も一つ角を曲がれば、

饐えた匂いの立ち込める路地裏。 積み上げら

れた酒瓶ケースの脇を栄養過多のデカい鼠が

走り抜け、夕立ちの名残、油の浮いた水溜

まりにネオンサインの色が落ちて、臺が立った

キャバ嬢の厚化粧みたいな嘘くさい色彩を湛

えていた。

クソが!!

そんな路地裏で、 雑居ビルの裏口から出て

きた男が、苛立ち交じりに扉を叩きつける。

にはゴールドのネックレスがこれ見よがしに光つ 男は、下品な赤いシャツに 白のスーツ 胸兀

殴り合いでもしたのか。 それなりに整つた顔立 ちの男ではあったが、 その類は赤く腫れ上

がつている。

| 若造が、調子に乗りやがって

そう吐き捨て、男は怒りに震える指先で

び散る火花。ライターの 咥えた煙草に火を点ける。 炎 暗、路地裏、飛 瞬、男の苦々

げな顔が浮かび上がった。

しつのまなな

突然。 耳元で女の声がして、 男はピクッと

身を跳ねさせる。慌てて顔を上げると、目の

前に全裸の少女が立っていた。

「外国人か? おいおい どっから湧いて出た

色欲を可えたよい誰もいなかったよな?

少女の容姿は、日本人のプレとはかけ離れ

ている。年の頃は千七、八、白に近いブラチナ

プロントのロングへアに左右で違う瞳の色。肌

は透き通るように白く
肉付きの良さとは裏

腹に腰は細く括れていた。

顔をして、男の頭のでへんから爪先まで視線 少女は、どこか物珍しいものを見るような

を移動させたかと思うと幼り子供みたいな

アテは、どこかしら?

表情で首を傾げる

立ちんぼってわけじゃねぇよな? 「どこって・・・・っていうか、何だよ、アータ

男は、警戒心も露わり に問いかけた。もちろ

ん。彼とて裸の女が嫌いなわけではない。だが、

これは流石に異常すぎる。しかも、少女には

恥じらうような素振りは欠片もなかった。

(どつかの店から逃げ出 してきたってわけでも

なさそうだが・・・

お上の締め付けが厳しい昨今ではあるが、そ ことは風俗店が軒を連ねる飲楽街である。

れなりに非合法なことを行っている店も少な くはない だが、無理やり客を取らされそう

になって逃げ出したというのなら、こんなに落 ち着いているとは思えなかった。

間で返すなどという無粋さは、いつの時代も 一はあ・地上の男はいつもそう。質問に質

変わりませんのね。もう結構ですわ

悪魔ですわ

少女は呆れたと言わんばかりに肩を竦める

と、男の目を見据える。

途端に、男の心臓が大きく跳ねた。肺の

中の空気を押し出すように横隔膜が震え、

口元から煙草がポロリと水溜まりへと落ちて、

ジュッと短い音を立てる。 目を逸らすことも

出来ず、彼は壁に背を預けるようにしてガタ

ガタと後退った。

(な、なんだ!! いったいどうしちまったん

だ!!

心臓が恐ろしい勢いで脈打っている。 あまり

の血流の速さに頭がクラクラした。

「面倒ですので直接、身体に聞かせていただ

くことにいたしましょう

少女は艶めかしくしなを作りながら身を寄

せると、ズボンの上から彼の股間に指を這わ

れるような感覚。恐怖に せる。少女の指先が触れた場所に火を放た 裏腹に、熱くなった股間 が硬化 に凍り付く背筋とは 屹立している。

う、うう

を下ろして逸物を取り出 身が強張って、呻き声を漏らすのが精 そんな彼に構うことなく 抵抗しようにも指一本動かせなかった。全 少女はプラスナー 「遠慮なく」

ちで。この程度では女を 「あらあら、なんとも可愛らしいモノをお持 満足させることなど

を扱き始めた。

できそうにありませんわね。 お可哀想に

付けてくる。だが、馬鹿にされる腹立たしさ 少女は、嘲るように彼の鼻先へと顔を突き

を恐怖心が上回った。

たったすけ ダメですわ♥

少女はにっこり笑ってそう言い放つと、 彼の

方へと尻を向ける。

ほう。ちらですわよ

彼女が見せつけるように股間のスリットを

指先で押し広げると、彼は抗うことも出来

すに震える手で、括れた白い腰を摑んだ。

色一欲を一つ。るきあ、思う存分、お楽しみくださいませ

たやめ

もちろん、セックスに自信がないわけではな

れまで、散々女を抱いてきたのだったが

本能が訴えかけてくる。これはマズハーでれ

たけはダメだと。

必死に抗おうとするも、身体は彼を裏切

り続けた。抵抗虚し、突き出される腰。ス

に、捕食される小動物のイメーンが重なった ブズブと少女の胎内へと沈み込んでいく逸物

んつああん

きて、彼の思考を掻き乱す 少女の艶つばい喘ぎ声が耳から入り込んで 濡れた襞がズル

リと逸物と擦れ合ったそ の瞬間、電流のよう

な快感が彼の脳を滅多刺しにした。

うべつ、があああああ!

もはや思考は意味を 形成しない。刺激に

対する反射同然。彼は 獣のような雄叫び

を上げながら激しく少女を突き上げ始めた。

あ、あ、あつ・・・ ああん。あんついですわあれる。あ、

暗闇の中で白い肉鞠が激しく弾み、卑猥な

水音と少女の嬌声が路地裏に木霊して、壁

面に据え付けられた剝き出しの非常階段を

駆け上るように、宙へと 響き渡る。激しさを

増していく腰の動きとは裏腹に、乱れに乱れ た男の呼吸音は、次第 に弱々してものへと変

わっていった。

悪魔ですわ

「あんつ、ああ、あつ、ああ····そろそろで

すわね

少女が最後を告げた途端、男は身を強張

らせ、くぐもつた呻き声を漏らす。胎内へと

断続的に放たれる精。それと同時に萎れる。

ように男の身体が痩せ細っていく。

そして、最後の一滴が絞り出されるのとほ

ぼ同時に、骨と皮だけになってしまった惨めな

男が、その場にくずおれた。

「ふう・・・この程度では何の足しにもなりま

せんわね

少女は、今の今までまぐわっていた男の遺

体を見下ろして、肩を竦める。

彼女の名はアスモデ。

七つの大罪の一つ、「色欲」を司る悪魔――

過去形なのは、今の彼女には、

力が残されていないからだ。

それだけの

彼女は自身の配下だった悪魔に七つの大罪

の一角の地位を追われ、 命からがらに地上へ

と逃げ延びた。

騙し討ちだったとはいえ、 悪魔のやることに

卑怯もつたくれもありはしない。たが、舐め

はない。まずは失った力を取り戻す必要があっ られたままでいるのも、 また悪魔のやり方で

とりあえず、男の精力を根こそぎ奪い取り

はしたが。回復した魔力は微々たるもの。そ

もそも彼女は、細々と精を奪い取れば充分

だという淫魔程度の低級 な魔物ではない

やはり・・・契約者が必要ですわね

魔力を得るために、最も効率が良いのは既

念の搾取。淫靡な行為、 淫猥な状況、性欲

だった。

抗えぬ葛藤、女を寝取られた苦しみ、怒り、

哀しみ、男を裏切る背徳の快感、悲嘆、**諫** 

属の悦楽。めくるめく色欲の宴。

契約者にそれらの状況を創出させて、彼

女はその概念を食ろうというのだ。

アスモデは顎に指を当てて、思考を巡らせる。

色欲を向るきでいとから探せばよいものでしょう

契約を結ぶ相手は、誰でもよっという訳で

はなかった。

若い男。それも溢れんばかりに復讐心を

宿した男がい。<br />
復讐心は道徳心を歪ませる。

復讐心を上手へ誘導して、多くの女を隷属

上げることができるはず。とけるのだ。そうすれば永続的に魔力を吸い

今、負り食った男の記憶は全て読み取って

ある。地上におけるアスモデの見た目は高校

生ぐらいらしい

ならば、その高校とやらで契約者を探すの

が良さそうですわね)

男の記憶を頼りに魔力で制服を構成して、

身にまとう。この男の妹が在籍する高校。こ

こからでは随分距離があ

るようだが、悪魔に

とって物理的な距離は大した問題ではない。

(ふむ、丁度))方が見つかればよいのですけ

れど

悪魔ですわ

NEXT REVENCE 過去が明かされる…。 秘められたそれぞれの 陽キャライフから一転、 監禁された3人の少女。

死んどけ



### EVENGE

ネトリベンジ

原作マサイ 漫画奇仙 【

2024年1月18日発売意

## 田大輔 たちを支配する



檜原フキ

ではさん

千田城大輔



かれません

DL-Raw,Se



こ」武田スーパー

武田スーパー YOUNG MAGAZ NE COM CS





内向的な高校生・桜庭宗一は、クラスの"陽キャ"たちから 激しいいじめに遭っていた。 いじめはエスカレートし、 唯一心を許していた幼馴染・梓が 彼らの手によって汚されてしまう。 絶望の底にあった宗一の前に現れたのは、 悪魔・アスモデ。 不思議な異能を持つ 悪魔と契約した宗一は、いじめっ子の大切な人を "寝取る"ことで、自らと同じ苦しみを与えることを決意する。 深摩な復讐劇、開幕—。





ネトリベンジ









ネトリベンジ



※この物語はフィクションです。	実在の人物・団体・	出来事などとは、
一切関係ありません。		

※収録されている内容は、作品の執筆年代・執筆された状況を考慮し、 コミックス発売当時のまま掲載しています。

### NTREVENGE(1)

### 2023年11月1日発行(01)

原作 マサイ 著 奇仙

© マサイ・奇仙/講談社

発行者 森田浩章

発行所 株式会社 講談社

〒112-8001

東京都文京区音羽 2-12-21

